

LMS365 Teams APP



目次

1. LMS365 for Microsoft Teams.....	2
2. LMS365 アプリを Microsoft Teams に追加する.....	2
3. チームでトレーニングの会話をする.....	3
4. 検索でトレーニングを見つける	4
5. LMS365 を Microsoft Teams のタスクバーに固定する.....	5
6. チームに新しいタブを追加する	7
7. トレーニング内での会話	8
8. LMS365 ボットと会話する.....	9
9. トレーニングへの移動.....	10
10. トレーニングの担当者に連絡する.....	13
11. LMS365 ボットを介してコースカタログを選択する	14
12. LMS365 ボットを介してダッシュボードを使用する	15
13. LMS365 の管理領域	16
14. Microsoft Teams のミーティングを作成する.....	19
15. Microsoft Teams で通知を受け取るには	19
16. よくある質問	22

1. LMS365 for Microsoft Teams

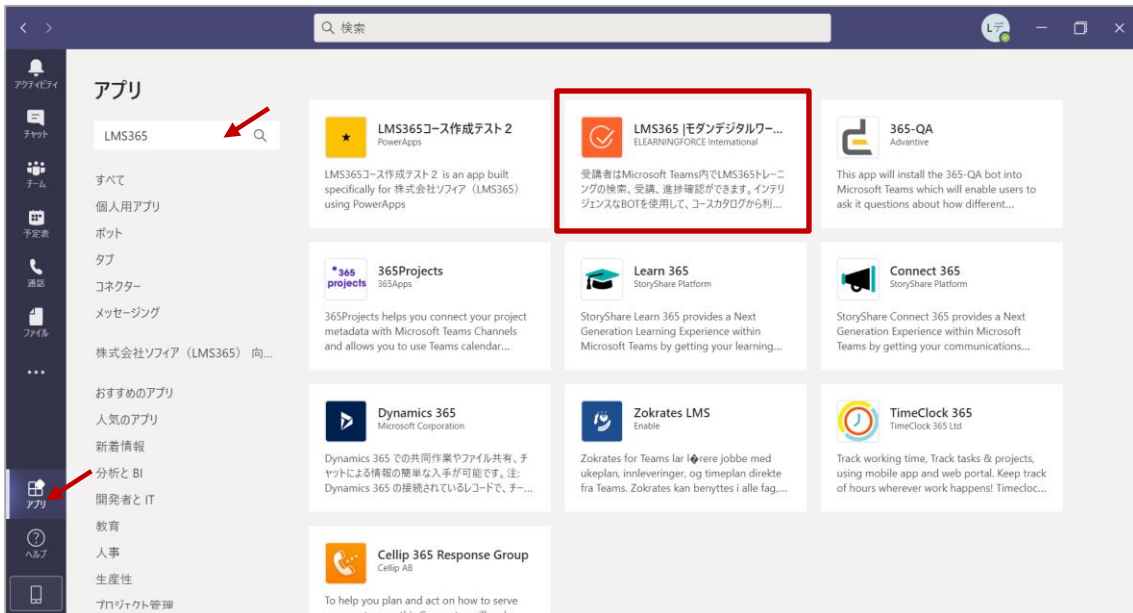
LMS365 for Microsoft Teams では、受講者が Microsoft Teams 内で直接トレーニングを検索、受講、追跡することができます。また、LMS365 ボットを使用してトレーニングを簡単に検索することができます。

Microsoft Teams の開発は絶え間なく急速に行われていることから、このガイドではよくある質問への回答や、現在の制限事項の概要についてもお紹介します。

2. LMS365 アプリを Microsoft Teams に追加する

Microsoft Teams に LMS365 をインストールするには、LMS365 が動作している必要があります。

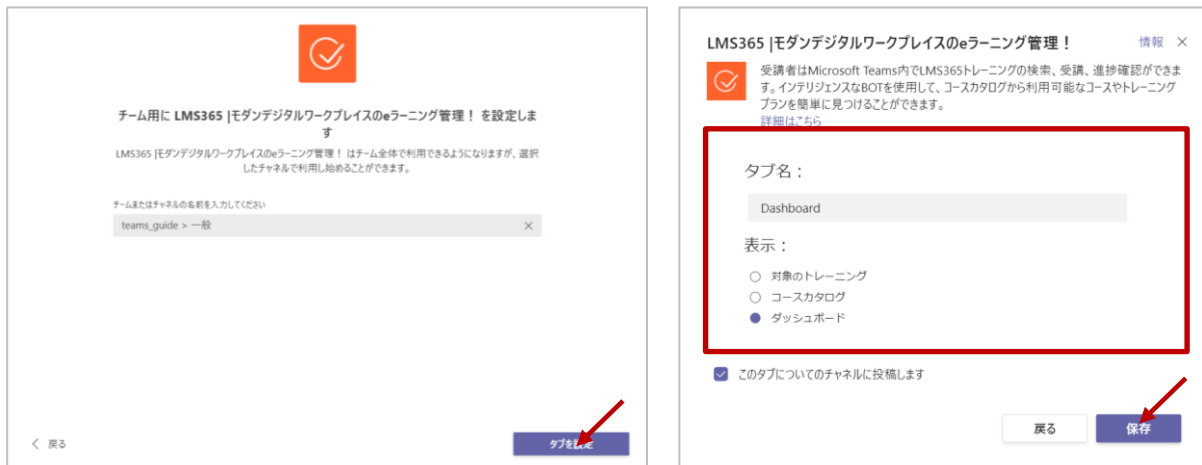
1. Microsoft Teams ストアで LMS365 を検索します。



2. LMS365 アプリをクリックします。チャットに追加、またはチームに追加を選択します。



3. [タブを設定] ボタンをクリックしてタブを設定します。



4. [保存] ボタンをクリックして完了です。

グローバル管理者または Teams サービス管理者は、Microsoft Teams 管理センターの「アプリの管理」ページにアクセスすることができます。ここでは、アプリのアクセス許可ポリシー、セットアップポリシー、ストアのカスタマイズを使用して、ユーザーエクスペリエンスの設定や、Teams 起動時にデフォルトでインストールされるアプリを選択することができます。詳細は、[Microsoft Teams のアプリセットアップポリシーを管理する](#)をご参照ください。

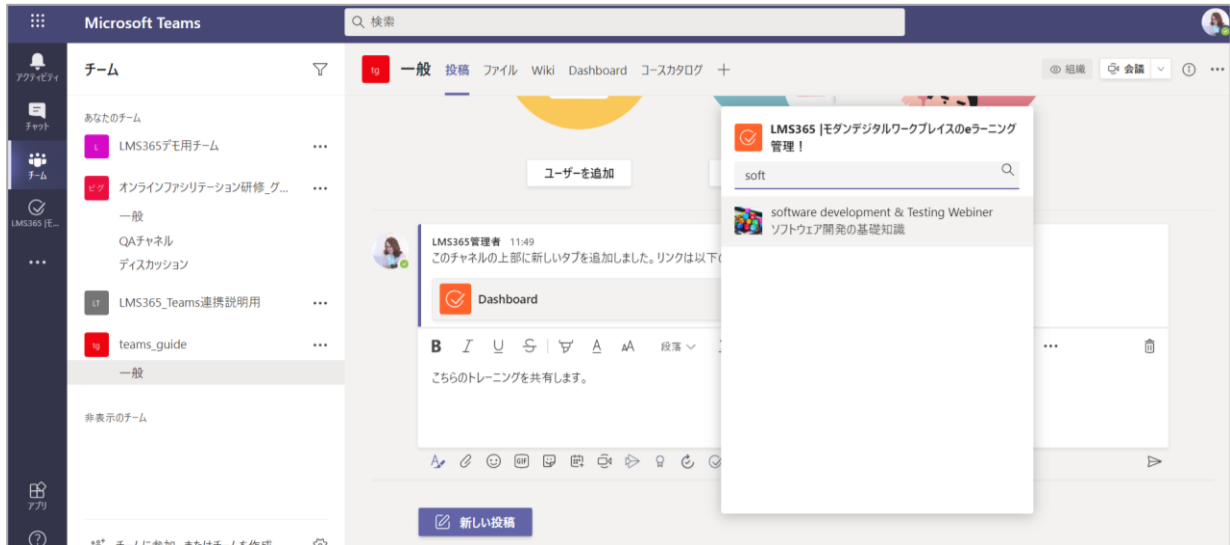
3. チームでトレーニングの会話をする

会話の中で直接トレーニングを共有することができます。

1. トレーニングを共有したいチームに移動します。
2. ツールバーのLMS365 アイコンをクリックします。



3. トレーニングを検索して選択します。

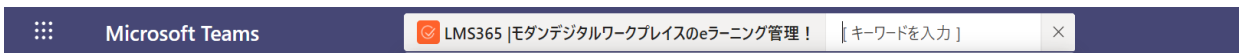


4. チームのメンバーはこちらからトレーニングを閲覧、受講を開始することができます。



4. 検索でトレーニングを見つける

1. Teams の検索ボックスに「@LMS365」と入力します。



2. キーワードを入力するか、表示されたリストからトレーニングを選択します。

3. トレーニングを閲覧し、開始することができます。

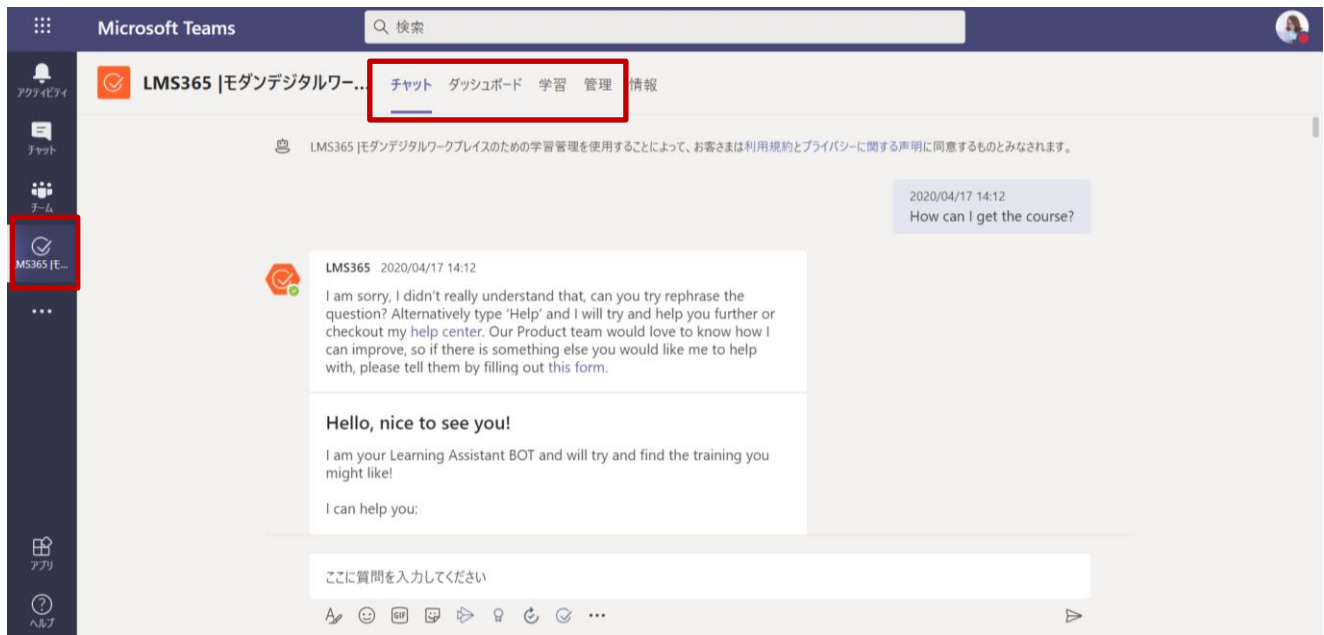


5. LMS365 を Microsoft Teams のタスクバーに固定する

Teams 管理者またはグローバル管理者は、Teams のビューをカスタマイズし、LMS365 アプリをタスクバーに固定するためのポリシーを設定することができます。

詳細についてはこちらの [Microsoft Teams のセットアップポリシーを管理する](#) をご参照ください。

すべての手順が完了すると、Microsoft Teams に LMS365 のアイコンが表示されます。チャット、ダッシュボード、学習、管理（管理者のみ）タブも利用可能です。



- ❖ チャット：ボットとの会話を表示します。
- ❖ ダッシュボード:パーソナライズされたトレーニングダッシュボードが表示されます。



- ❖ 学習：チャットやダッシュボードタブから開いたトレーニングが表示されます。

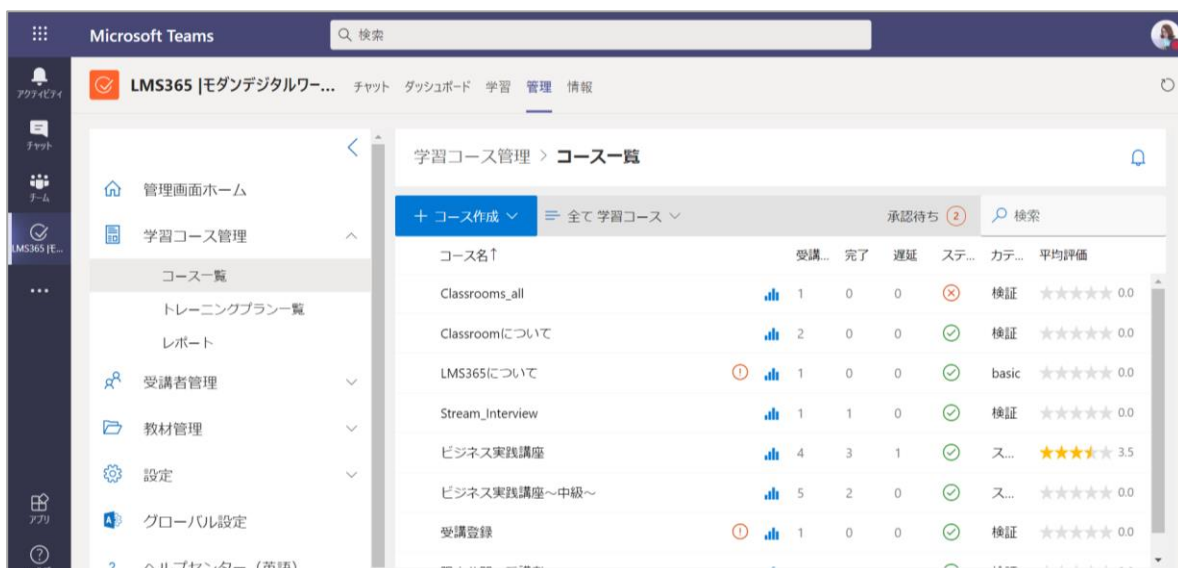


The screenshot shows the Microsoft Teams interface for a training course. The course title is 'ビジネス実践講座～中級～' (Business Practice Course - Intermediate). The course description explains the focus on business fundamentals and the importance of understanding social rules. The course information includes:

- Category: スキル, マネジメント
- Type: eラーニング
- Learning Time: 1 hour
- Course ID: 131392
- CEU: 10
- Contact: LMS365管理者

 The 'ラーニングモジュール (学習教材)' section shows a video player for 'LMS365(EFI)' which is currently '未開始' (Not Started).

- ❖ 管理：管理画面を表示します。(管理者のみ)



The screenshot shows the Microsoft Teams management interface for LMS365. The left sidebar contains navigation options:

- 管理画面ホーム
- 学習コース管理
- コース一覧
- トレーニングプラン一覧
- レポート
- 受講者管理
- 教材管理
- 設定
- グローバル設定
- ヘルプセンター (英語)

 The main content area displays the '学習コース管理 > コース一覧' (Learning Course Management > Course List) page. It features a table of courses with columns for course name, enrollment status, completion, delay, status, category, and average rating.

コース名↑	受講...	完了	遅延	ステ...	カテ...	平均評価
Classrooms_all	1	0	0	⊗	検証	★★★★★ 0.0
Classroomについて	2	0	0	⊙	検証	★★★★★ 0.0
LMS365について	1	0	0	⊙	basic	★★★★★ 0.0
Stream_Interview	1	1	0	⊙	検証	★★★★★ 0.0
ビジネス実践講座	4	3	1	⊙	ス...	★★★★★ 3.5
ビジネス実践講座～中級～	5	2	0	⊙	ス...	★★★★★ 0.0
受講登録	1	0	0	⊙	検証	★★★★★ 0.0

これで Teams 上での LMS365 アプリが利用可能になり、ユーザーは簡単に作業を行うことができます。

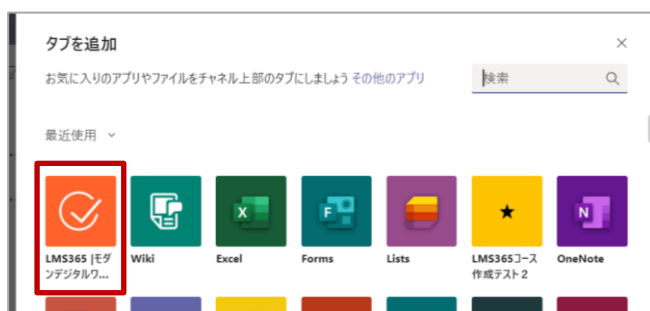
6. チームに新しいタブを追加する

LMS365 ダッシュボード、コースカタログ、トレーニングを表示するには、チャンネルの上部にタブを追加します。

1. タブを追加するチームを選択します。
2. ヘッダーにある「+」追加アイコンをクリックします。



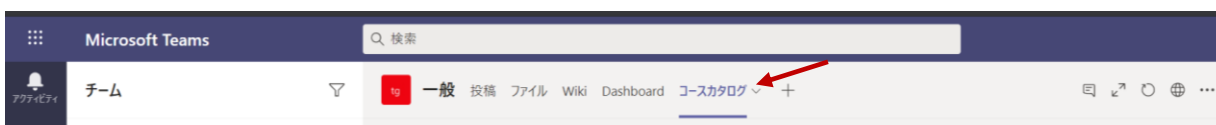
3. LMS365 アプリをクリックします。



4. タブの名前、表示する項目、タイトルまたは URL を設定します。
 - ❖ 対象のトレーニング: フィールドをクリックしてトレーニングを選択できます。サイト URL を貼り付けてトレーニングを選択することもできます。
 - ❖ コースカタログ: フィールドをクリックしてカタログを選択できます。サイト URL を貼り付けてカタログを選択することもできます。

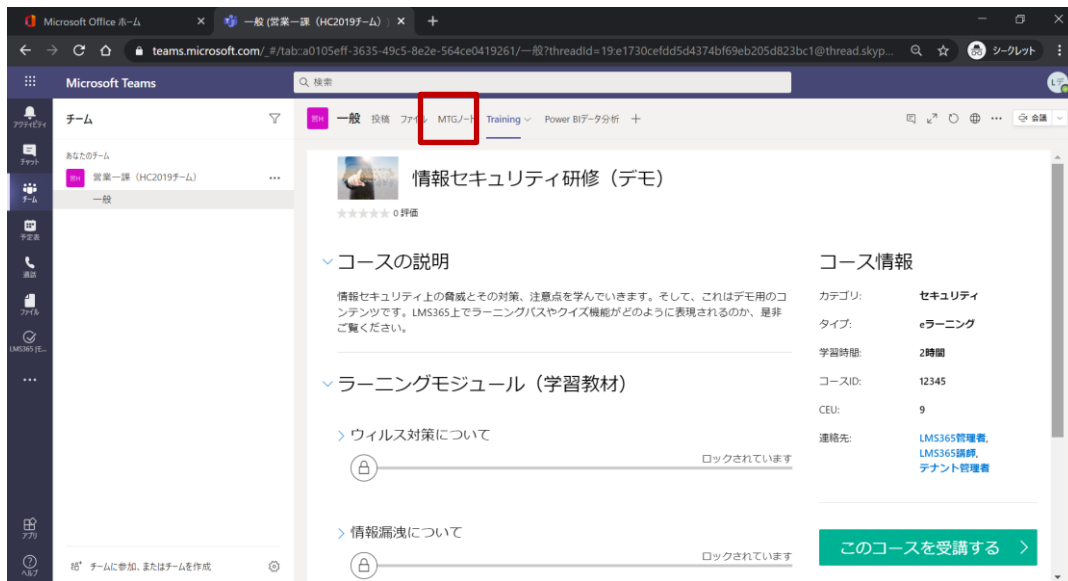


5. [保存] をクリックするとタブが追加されます。



注記: トレーニングやコースカタログにアクセス権がない場合は、タブを追加できません。
「保存」ボタンが無効となっている場合、全ての項目が設定されているか確認してください。

タブをクリックしてトレーニング、コースカタログ、またはダッシュボードを表示します。

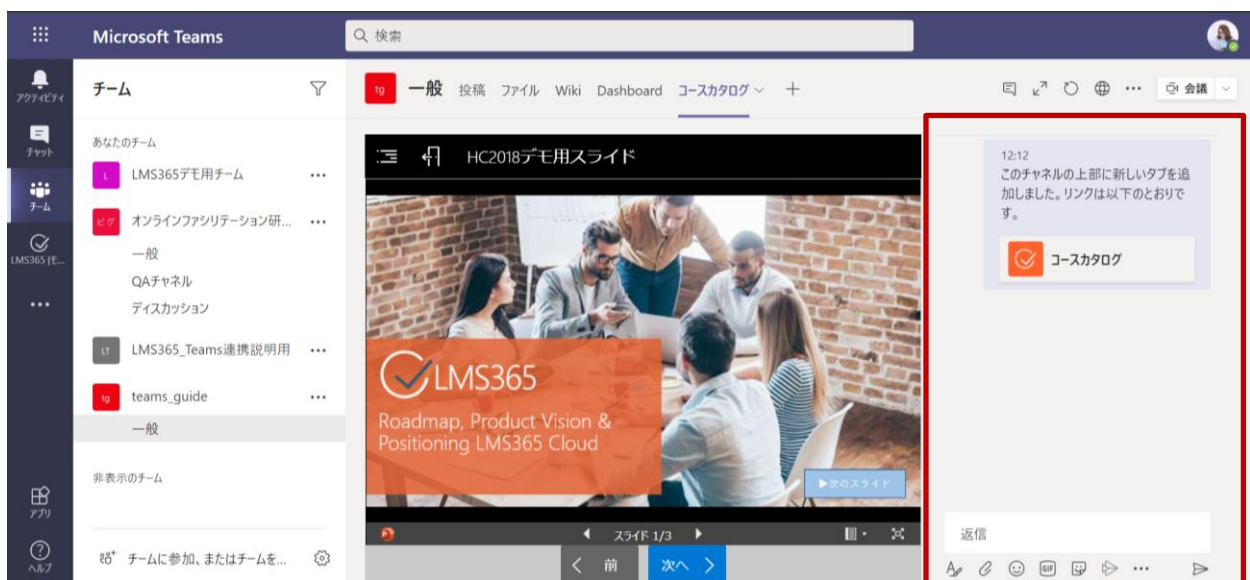


7. トレーニング内での会話

1. チーム内のトレーニングのあるタブを選択します。
2. 右上にある会話を表示をクリックします。



3. 会話が表示されます。

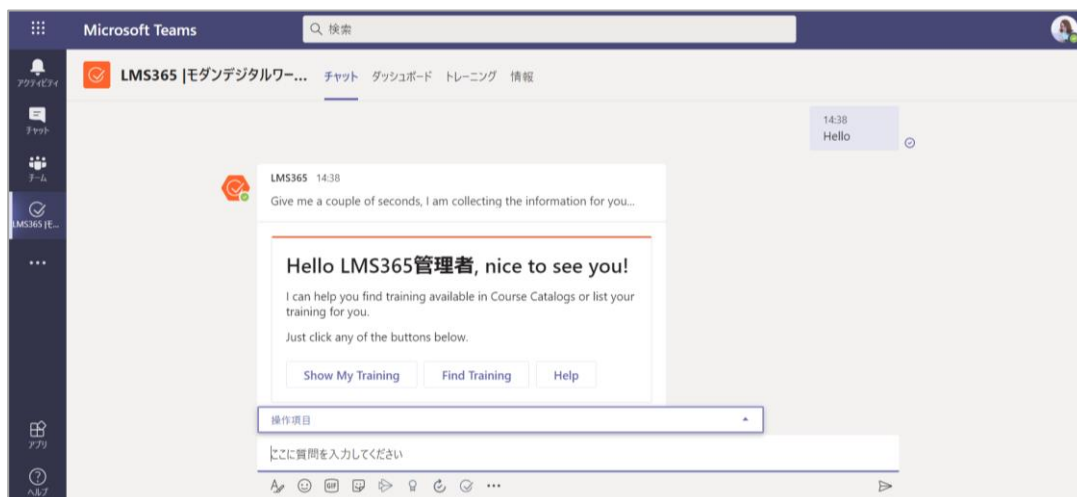


8. LMS365 ボットと会話する

1. ボットとの会話に移動します。
2. メッセージ欄に表示されるショートカットから項目を選択するか、



「Hello」と入力して送信します。

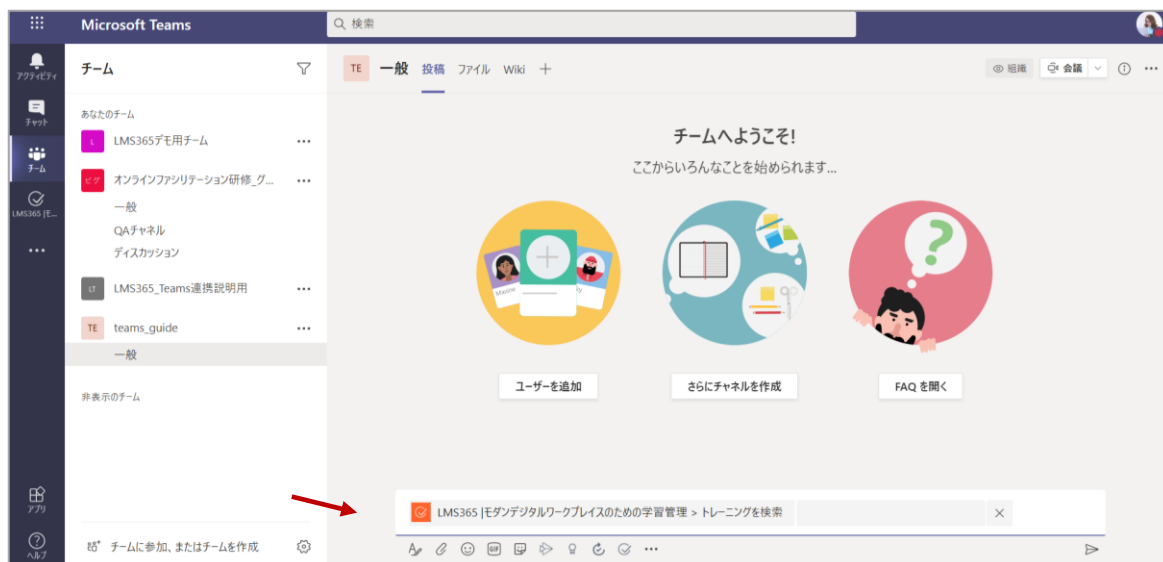


チャットに入力可能なボットのコマンドは次の通りです。

Hello, Hi	ウェルカムカードが表示されます。
Help	利用可能なコマンドのヘルプカードが表示されます。
Show My Training	コースカタログにある全てのトレーニングが搭載されたカードが表示されます。 フィルタリングしてトレーニング表示できます。
Find Training	コースカタログの中からトレーニングを検索するカードが表示されます。
Show e-Learning Courses	現在のコースカタログの e-Learning コースのカーセルが表示されます。
Show Webinar Courses	現在のコースカタログのウェビナーのカーセルが表示されます。
Show Classroom Courses	現在のコースカタログのクラスルームのカーセルが表示されます。

Show Training Plans	トレーニングプランのカルーセルが表示されます。
Show Training Categories	使用しているカテゴリー一覧のカードが表示されます。

チーム内でもボットを使用した会話ができます。@LMS365 と入力後、トレーニングのキーワードを入力します。

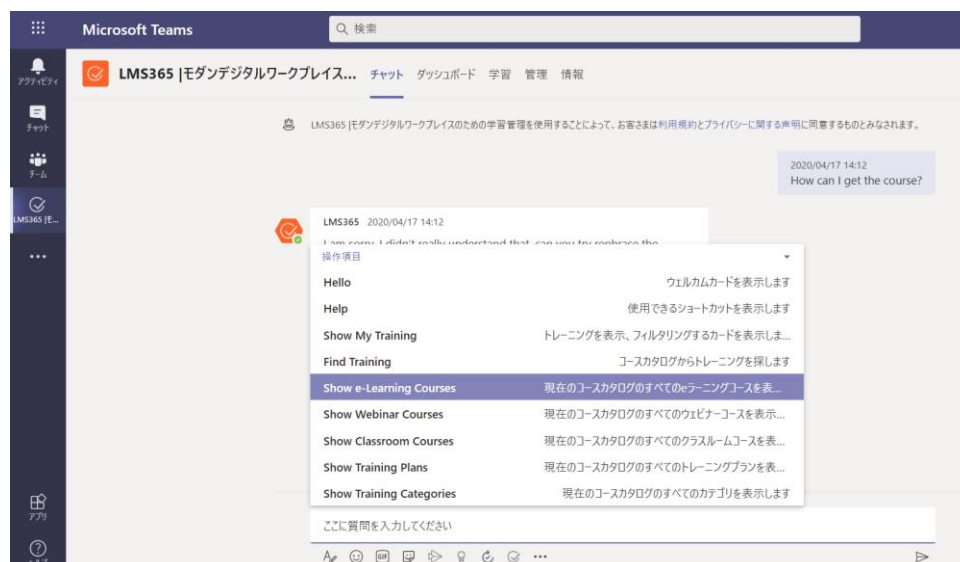


チームのメンバーはここでトレーニングの閲覧、受講ができます。

9. トレーニングへの移動

9.1. ボットタブ

1. ボットとの会話に移動します。
2. トレーニングを表示するために必要なコマンド（例えば、“Show e-Learning Courses”）を選択します。その後、選択したコマンドに応じて、コースタイプ、カテゴリー、進捗ステータスを選択します。



3. トレーニングのカルーセルが表示されたら、「<」または「>」をクリックして必要なトレーニングを表示します。



4. [View Course] ボタンをクリックします。
5. コースは「トレーニング」タブの中に開きます。(自動的にログインしていない場合は、まずログインしてください)。



9.2. ダッシュボードタブ

ダッシュボード上でコースやトレーニングプランを見つけることができます。



ダッシュボードでは自身のトレーニングの進捗状況の概要、獲得した認定証、コンピテンシー、CEUに関する情報を提供します。また、ランキングを見ることもできます。詳細については[こちら](#)をご参照ください。

9.3. 学習タブ

最後に開いたトレーニングは「学習」タブで確認できます。トレーニングが選択されていない場合は、ダッシュボードタブまたはチャットタブに移動してトレーニングを選択するか、最近受講登録されたが完了していないトレーニングを選択することをお勧めします。



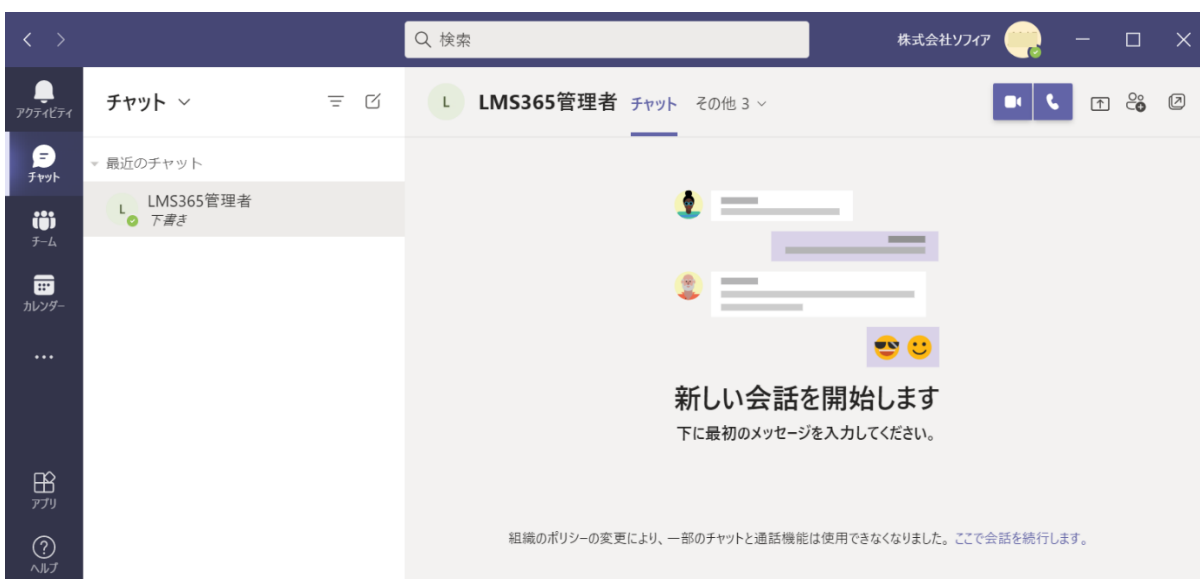
トレーニングを選択すると、最後に開いたトレーニングページが「学習」タブに表示されます。

10. トレーニングの担当者に連絡する

トレーニング担当者と会話を始めるには、LMS365 Teams アプリの Learn タブ（トレーニングのトップページ）で、目的の担当者をクリックします。



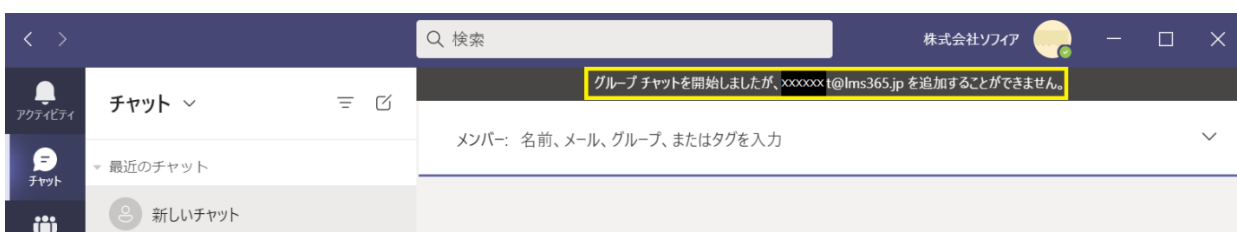
Microsoft Teams で担当者とのチャットに誘導されます。



受講者は直感的に Teams の中で学習を進めることができるようになります。

受講者は、Microsoft Teams のユーザーであるトレーニング担当者のみと会話を始めることができます。

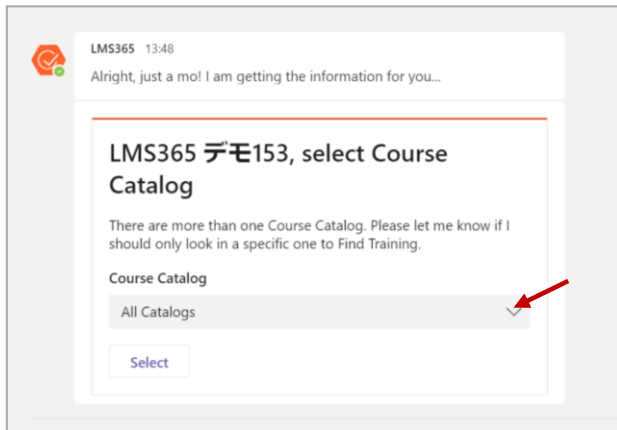
Microsoft Teams のユーザーでない場合は以下のメッセージが表示されます。



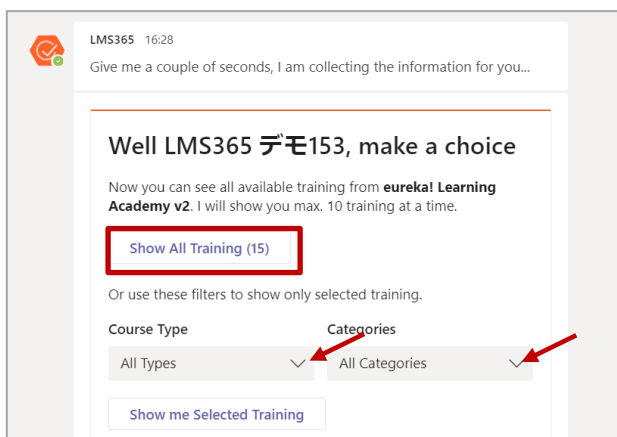
注記： コースホームページをブラウザで表示している場合はメールで連絡できます。

11. LMS365 ボットを介してコースカタログを選択する

1. ボットとの会話に移動します。
2. 「Find Training」コマンドを選択します。
3. ドロップダウンメニューから必要なコースカタログを選択します。



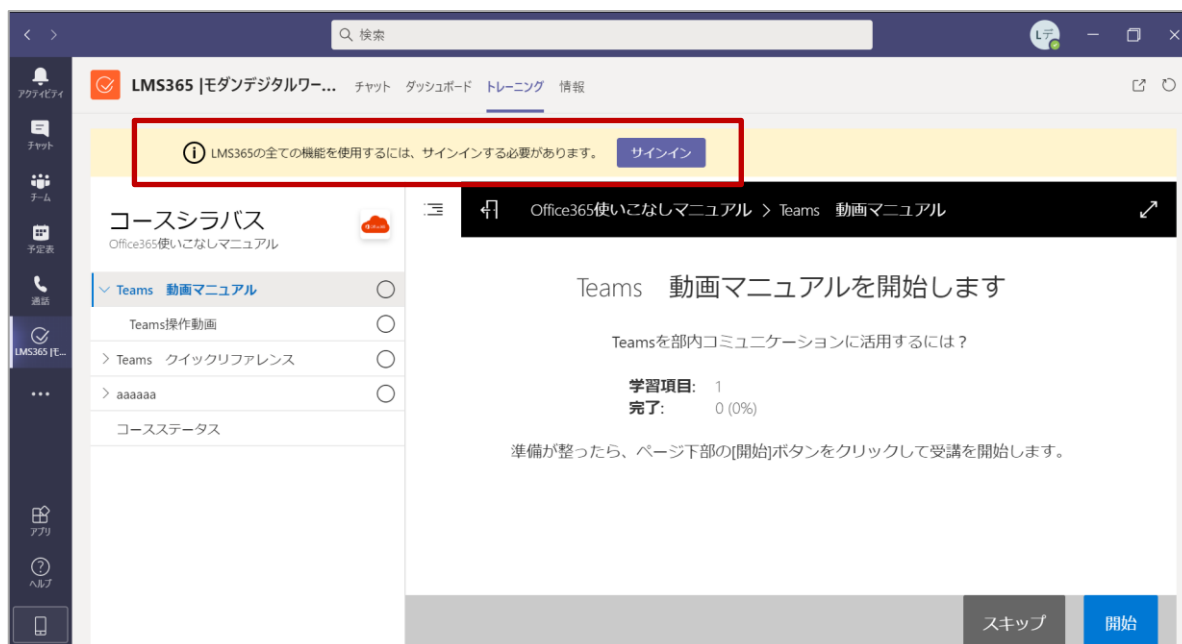
4. 選択したカタログ内のトレーニングを全て、またはフィルタリングして表示できます。



ライン管理者はライン管理者ダッシュボードでカタログを選択して移動することができます。



コースを開始すると、次のようなメッセージが表示される場合があります。LMS365 の機能をすべて活用するためには、サインインしてください。



サインインをクリックすると、コースの内容に完全にアクセスできます。

12. LMS365 ボットを介してダッシュボードを使用する

1. ダッシュボードタブを開きます。
2. LMS365 にサインインしていない場合は Microsoft Teams と同じアカウントでサインインします。
3. Microsoft Teams 内にダッシュボードが表示されます。



Microsoft Teams のダッシュボードでは、ランキングセクションは既定値ではオフになっています。LMS365 の管理者は、設定で表示をオンにできます。



ナビゲーションのセクションやリンクの設定については、こちらの[ダッシュボード>左側ナビゲーション](#)をご参照ください。

13. LMS365 の管理領域

管理タブでは、Microsoft Teams 内で LMS365 管理画面に直接アクセスすることができます。初回はサインインして管理オプションへのアクセス許可を確認する必要があります。



サインイン確認後、[管理]タブに LMS365 管理者センターが表示されます。

コース名↑	受講...	完了	遅延	ステ...	カテ...	平均評価
Classrooms_all	1	0	0	⊗	検証	★★★★★ 0.0
Classroomについて	2	0	0	⊙	検証	★★★★★ 0.0
LMS365について	1	0	0	⊙	basic	★★★★★ 0.0
Stream_Interview	1	1	0	⊙	検証	★★★★★ 0.0
ビジネス実践講座	4	3	1	⊙	スキ...	★★★★★ 3.5
ビジネス実践講座～中級～	5	2	0	⊙	スキ...	★★★★★ 0.0
受講登録	1	0	0	⊙	検証	★★★★★ 0.0
限定公開の受講者	1	0	0	⊙	検証	★★★★★ 0.0

コース、またはトレーニングプランホームページで学習コース管理アクションも利用できます。Microsoft Teams 内の管理タブで開くことができます。

ビジネス実践講座
★★★★★ 2 評価

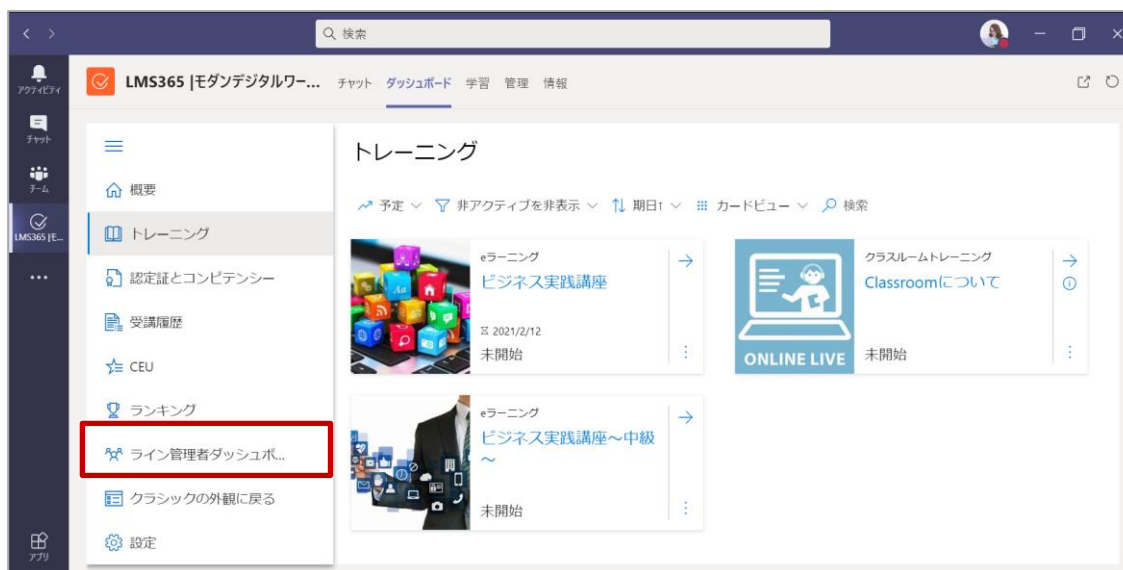
▼ コースの説明

なぜビジネスを行わないといけないのか まず初めに、ビジネスは何でしょうか？ 少し高度な言葉で言うと、「利益を出す」という事を指します。もっと簡単な言葉では、早い話「金を稼ぐこと」になります。つまり、「どれだけ金を稼ぐことができるか」がビジネスを行う上で最も重要になります。ただし、金を稼ぐとはいても「人を騙す」などを行ってはけません。きちんと社会のルールに沿った形でビジネスを行わないといけません。このページを見ているという事は「もっと稼ぎたい」、「今の給料ではやっていけない」など何かしらの不満があると思います。そこで、私がこれまでの経験や知識によって、「金を稼ぐ」という事に焦点を当てて、これらあなたの不満に対するヒントになればと思います。

▼ ラーニングモジュール (学習教材)

- コースを編集
- 受講者を管理する
- 受講承認
- コースの進捗
- コースレポート
- 評価の管理
- コースコンテンツ管理
 - コンテンツパッケージ
 - ラーニングモジュール (学習教材)
 - クイズ
 - 外部アプリ
- コース完了設定
- 学習コースページ設定

Microsoft Teams 内でライン管理者ダッシュボードとトレーニングダッシュボード間を移動することができます。



LMS365 管理の詳細については、LMS365 ユーザーガイドをご参照ください。

管理画面にアクセスする権限がない場合は、管理タブにアクセス拒否のメッセージが表示されます。



14. Microsoft Teams のミーティングを作成する

今回のアップデートにより、管理者は、コースセッションの作成/編集パネルから直接 Teams ミーティングを作成できるようになります。

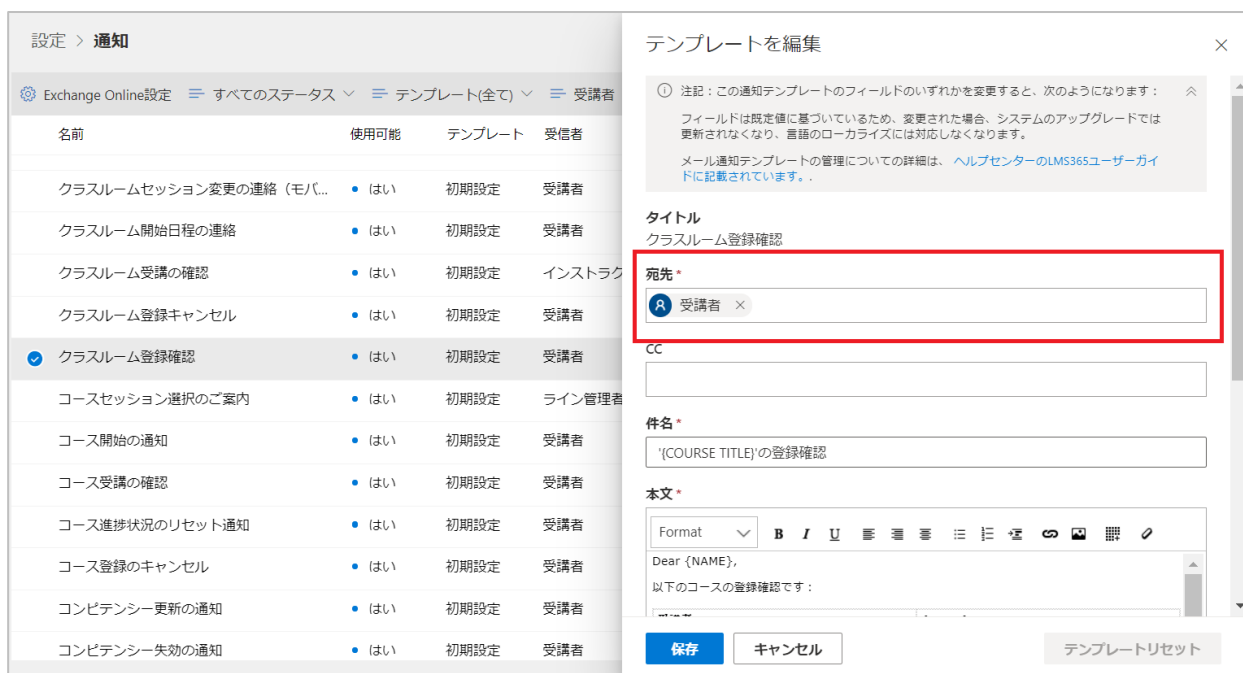
コース管理者は、Teams で作成したミーティングの URL を LMS365 にコピー&ペーストする必要がなくなります。

注意: この機能は LMS365 製品の新しいレベルの権限を必要とするため、この機能を有効にするには、LMS365 グローバル管理者がテナントから変更された LMS365 権限を受け入れる必要があります。

15. Microsoft Teams で通知を受け取るには

受講者は、トレーニングへの登録や登録解除、認定証の有効期限、クラスルームの開始などの LMS365 通知を、Microsoft Teams の LMS365 アプリで直接受け取ることができます。

ユーザーは、何らかのアクションを必要とする、またはユーザーに直接送信される LMS365 通知（ユーザーが To フィールドに表示される通知）を Microsoft Teams で受け取ることができます。



名前	使用可能	テンプレート	受信者
クラスルームセッション変更の連絡 (モバ...	はい	初期設定	受講者
クラスルーム開始日程の連絡	はい	初期設定	受講者
クラスルーム受講の確認	はい	初期設定	インストラク
クラスルーム登録キャンセル	はい	初期設定	受講者
クラスルーム登録確認	はい	初期設定	受講者
コースセッション選択のご案内	はい	初期設定	ライン管理者
コース開始の通知	はい	初期設定	受講者
コース受講の確認	はい	初期設定	受講者
コース進捗状況のリセット通知	はい	初期設定	受講者
コース登録のキャンセル	はい	初期設定	受講者
コンピテンシー更新の通知	はい	初期設定	受講者
コンピテンシー失効の通知	はい	初期設定	受講者

テンプレートを編集

① 注記: この通知テンプレートのフィールドのいずれかを変更すると、次のようになります:
 フィールドは既定値に基づいているため、変更された場合、システムのアップグレードでは更新されなくなり、言語のローカライズには対応しなくなります。
 メール通知テンプレートの管理についての詳細は、ヘルプセンターのLMS365ユーザーガイドに記載されています。..

タイトル
 クラスルーム登録確認

宛先*
 受講者 ×

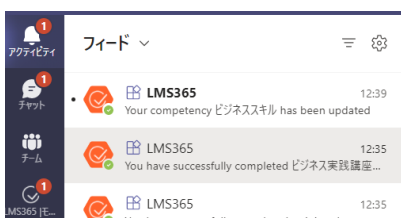
CC

件名*
 '{COURSE TITLE}'の登録確認

本文*
 Format B I U [Icons]
 Dear {NAME},
 以下のコースの登録確認です:

保存 キャンセル テンプレートリセット

すべての通知は、LMS365 ボットを介して Teams アクティビティ配信されます。タイトル、画像、トレーニングタイプ、トレーニング ID（コンピテンシー付与通知を除く）、コースまたはトレーニングプランの説明が含まれます。



アクティビティ

フィード

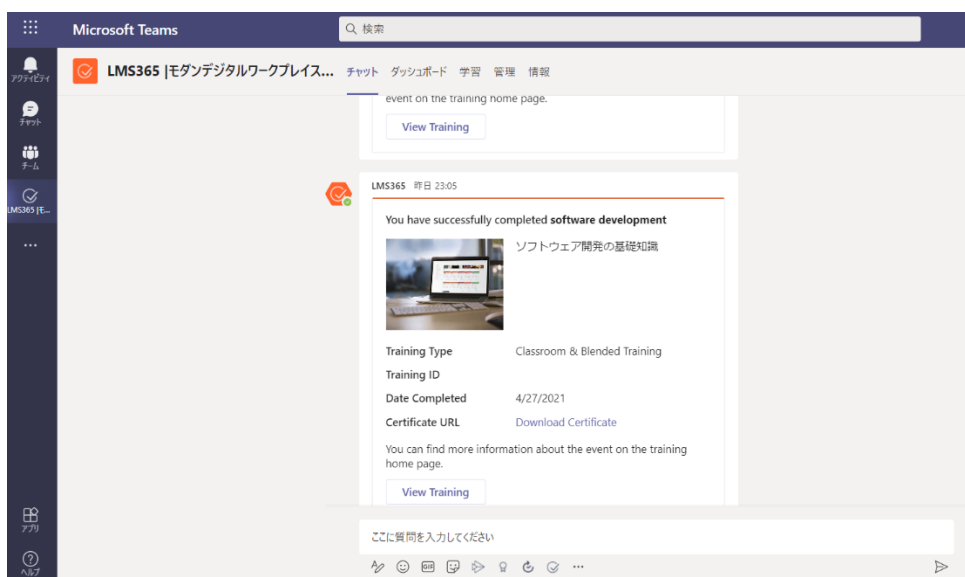
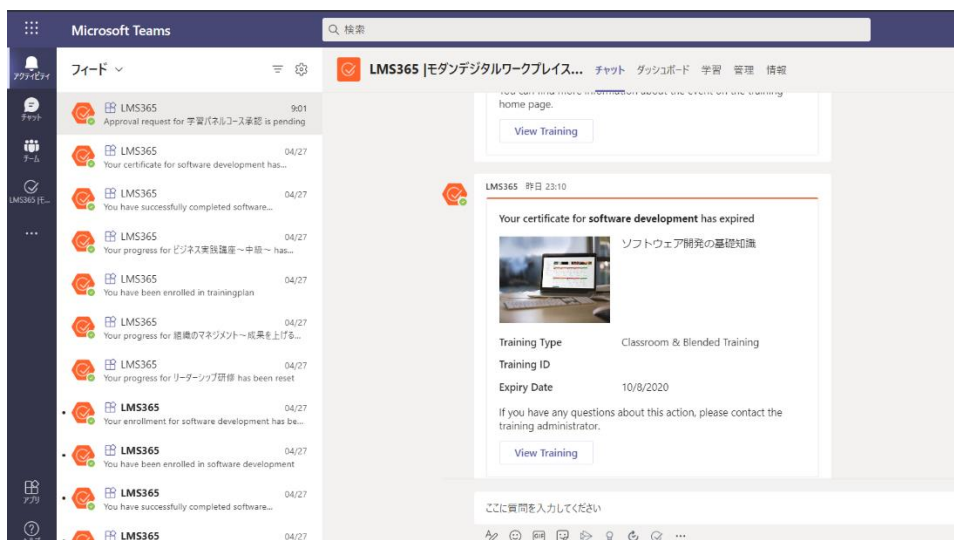
チャット

チーム

LMS365 12:39
 Your competency ビジネススキル has been updated

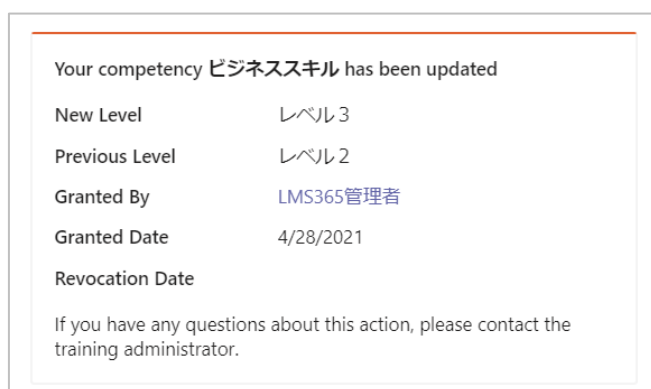
LMS365 12:35
 You have successfully completed ビジネス実践講座...

LMS365 12:35
 You have successfully completed training...

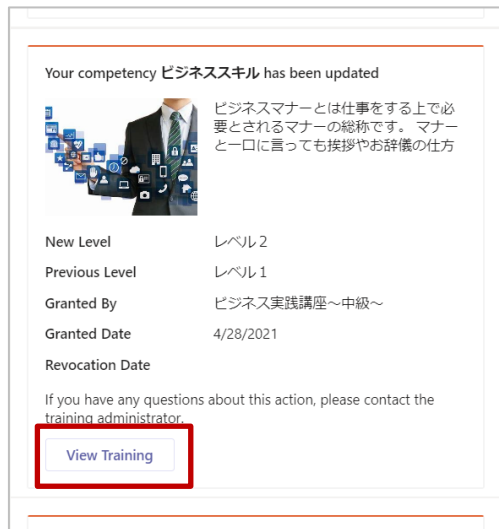


コンピテンシーは、管理者が手動で付与する場合と、受講者がトレーニングを完了した後に付与する場合があります。付与方法によって、Microsoft Teams の通知カードに表示される情報が異なります。

手動で付与した場合：



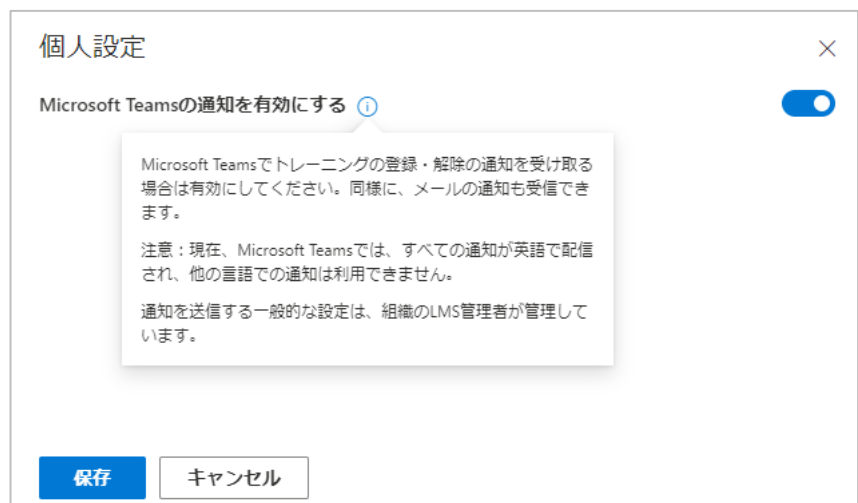
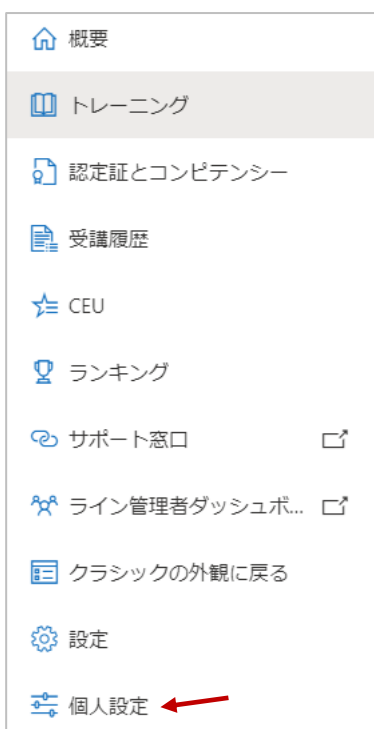
トレーニング完了後に付与された場合 :



「View Training」 ボタンをクリックすると、「学習」タブにリダイレクトされます。

受講者は、LMS365 Web アプリケーション、および Microsoft Teams の LMS365 アプリから、Microsoft Teams の通知を有効にすることができます。マイトレーニングダッシュボードの 個人設定 セクションで設定します。既定値はオフです。

LMS365 のチャットボットが初めてのユーザーを参照するために、受講者はチャットボットとの対話を開始する必要があります。





このオプションを有効にすると、通知が Microsoft Teams で配信されるようになります。コースカタログの管理者は、コースカタログの各通知を管理します。ユーザーがこの設定を有効にした場合でも、電子メールによる通知は送信されます。

16. よくある質問

Q : Microsoft Teams に LMS365 を追加したいのですが、アプリストアに LMS365 が見つかりません。

A : チームのアプリストアに LMS365 を表示させるには Microsoft 365 管理センター>管理センター> Teams>組織全体の設定>外部アクセスで「外部アクセス」オプションを有効にする必要があります。詳細については、こちらの [Microsoft Teams での外部アクセスの管理](#) を参照してください。



Q : LMS365 ボットを追加したとき「管理者がポリシーを設定しているため、LMS365 API が要求している権限を付与することができません。あなたに代わってこのアプリケーションに許可を与えることができる管理者に連絡してください」というメッセージが表示されます。

A : Microsoft Azure で「ユーザーは、アプリが自身の代わりに会社のデータにアクセスすることを許可できます」オプションが無効になっています。Microsoft Azure ポータルにログインし、Azure Active Directory>エンタープライズアプリケーション>ユーザー設定で同意を有効にしてください。



Q : LMS365 が応答していません。

A : 一部の Teams で LMS365 が応答していないと表示される場合、次のようなケースが考えられます。Office365 管理者が Microsoft Teams のボットを無効にしている可能性があります。Office365 管理者に連絡して問題を解決してください。

Microsoft Teams を介して LMS365 を使用する際における既知の制限事項

現在、SharePoint と Microsoft Teams の間で機能が異なる部分は以下の通りです。

- ❖ コース管理者は課題の追加、編集、管理、および成績表へのアクセスは利用できません。
- ❖ コースホームページの「課題」セクションのアクションは利用できません。
- ❖ テーマが適用されません。
- ❖ Teams での学習 は LMS365 App for Teams タブ内で実行されるため、学習コンテンツ 例えば、コンテンツパッケージや外部アプリを「新しいウィンドウで開く」という設定は適用できません。